坂戸市立坂戸小学校　笑顔・感動・花いっぱい

夢道場・坂戸小だより

【学校教育目標】
○やさしく　（徳）
○かしこく　（知）
○たくましく（体）

学校経営方針　「明るく　元気に　爽やかに　すべての対応を親身になって丁寧に」

令和３年７月６日
第７号

【自立・協働・貢献】自分たちの力で活力と潤いのある学校づくり!!～坂戸小は、委員会活動が盛んです！

本校では、学校全体がより安心･安全で居心地の良い集団生活の場となるため、高学年児童が中心となって委員会活動が活発に行われています。「今の坂戸小には何が必要なのか」を考え、自発的、自治的に活動に取り組む高学年リーダーたちの姿は、学校生活に活力と潤いを与えるとともに、下学年の児童たちに高学年児童への親しみや憧れ、尊敬の気持ちを醸成し、「やがては自分たちがバトンを引き継ぎ、この坂戸小をさらに良い学校にしていくぞ」という気持ちも育てています。やがて大人になり、将来、社会で活躍する人材（財）となる子供たち。『自立･協働･貢献』は、本校の目指す教育の根幹です。

今年度も各委員会の高学年児童たちが、学校生活の中で、自分たちで考え、協働し、より良い学校を創るために貢献している最中の6月22日、児童朝会（放送）で各委員長が今年度の活動計画や全校児童へのお願い等を堂々と発表しました。以下にその概要を紹介します。

- ❑【計画委員会】　◎年間＝学校行事の計画・運営、スローガン決め　○１学期＝坂小まつりの計画・運営　○２学期＝運動会のスローガン決め　○３学期＝６年生を送る会やレクの計画・運営
- ❑【掲示委員会】　◎年間＝毎月テーマを決めての新聞やポスター作り　○１学期＝ヒマワリや氷などの折り紙アート掲示　＊たくさんの折り紙を折って、ポストに入れて下さい。２学期以降も素敵な掲示物を作成していきます。
- ❑【給食委員会】　◎年間＝給食の下膳支援、給食の内容についての放送（火曜日）　○１学期＝楽しく給食を食べてもらうためのキャラクター作り　○２・３学期以降＝キャラクター入りの給食ポスター等の作成
- ❑【美化委員会】　◎年間＝「毎朝の階段掃除」「ゴミ回収」「清掃用具や清掃場所の点検」　＊ゴミ回収では、時間内にゴミを持ってきてください。
- ❑【保健委員会】　◎年間＝石けんの補充　○１学期＝熱中症予防などの呼びかけ　○２学期＝手洗い実験等、手洗いの啓発　○３学期＝保健室の利用者数のグラフなどの掲示物の作成　＊固形石けんをつぶしたり、ハンドソープで遊んだりはしないでください。
- ❑【緑化委員会】　○１学期＝ヒマワリ、ホウセンカ、マリーゴールド植え、除草作業　○２学期＝秋や冬に咲く花の植え替え，落ち葉集め集会の運営　○３学期＝ポスター作製、除草作業　＊緑の羽根募金の際はご協力をお願いします。
- ❑【飼育委員会】　◎年間＝ウサギや金魚、メダカ、ウナギなどの生き物の世話　○１学期＝「命の大切さ」のお知らせ　＊２・３学期＝イベントの企画・運営　＊生き物に勝手に餌をあげないようにお願いします。
- ❑【図書委員会】　◎年間＝図書の貸し出し、たくさん本を読んでもらえるような取組、10月の読書月間のイベント計画　＊これからも本を大切に扱ってください。
- ❑【放送委員会】　◎年間＝放送の仕事　○１学期＝豆知識や雑学などの紹介　○２学期＝運動会の実況　○３学期＝「先生、誰でしょうクイズ」　＊放送は静かに聴いてください。
- ❑【福祉委員会】　◎年間＝アルミ缶回収　○１学期＝ポスター作製　○２学期＝赤い羽根募金　○３学期＝書き損じハガキ回収　＊アルミ缶は、乾かし、潰して持ってきてください。
- ❑【運動委員会】　◎年間＝一輪車の鍵開け　○１・２・３学期＝体力向上を目指したレクの企画・運営　＊一輪車は元の場所に戻してください。
- ❑【生活委員会】　◎年間＝あいさつ運動、生活目標の呼びかけ活動　○１学期＝感染症予防などのポスター作製　○２学期以降＝生活目標にそった啓発活動、あいさつの花の取組

委員会の委員長が勢ぞろい

【4年生】『社会科見学に行ってきました！』

《浦山ダム・東秩父村和紙の里　6月9日（水）》

「わたしたちの住む埼玉県についてより深く学ぶ」という目的を持ち、社会科見学に行ってきました。社会科の学習では、暮らしを支える水についての学習も行い、子ども達は学びを深めようという気持ちで、浦山ダムに向け出発することができました。

浦山ダムでは、ダムの働きや大きさなどについて教えて頂きながら熱心にメモをとったり、498段の階段を下り下から見上げるダムの大きさに感動したりと、様々な体験をすることができました。仲間と共に長い階段を降りた達成感、また緑あふれる自然豊かな景色にも心奪われ、とても良い笑顔を見せていました。東秩父村和紙の里では、丁寧に紙の漉き方を教えて頂き、少し緊張しながらも手順良く、紙漉き体験をすることができました。冷たい水の中に手を入れ作った手作り和紙の完成をとても楽しみにしていました。また、茅葺屋根の家や資料館を見て、昔の暮らしについても学ぶことができました。

どちらの場所でも、マナーよく、意欲的に学習する姿が印象的で、とても充実した社会科見学になりました。これらの貴重な体験を振り返りながら今後の学びに生かしていけるよう担任一同、指導に努めて参ります。保護者の皆様、たくさんのご協力ありがとうございました。

（文：第4学年主任　粟野　勝美）

【夢道場・ほっとニュース】

「学校応援団の皆さん、いつも有難うございます！」

今年度もPTAの各委員会をはじめとする保護者の皆様や学校応援団の皆様から沢山のご支援ご協力を頂いております。毎日の登下校の見守りや毎朝の消毒、学年行事の安全見守り、除草作業や花の植え替え等々、本当に有難うございます。6／25には、ボランティアの皆さんが図書室の蔵書点検を行ってくださいました。本校は市費に加え、ベルマーク等の収益で13，234冊と市内で一番多い蔵書数を誇ります。長時間かけて丁寧に点検してくださいました。

坂戸小は小中連携・義務教育9か年の連続性を重視

いわゆる中1ギャップの解消も含め、小学校から中学校への滑らかな接続、義務教育9か年の連続性は特に重要です。本校は、それらを見据えて、**本校独自の「教科担任制」**や**坂戸中学校との連携**に力を入れています。過去には年間を通してお互いの授業や行事の公開、小中連絡協議会や合同研修会、6年生を中心とした体験入学や説明会、中学生の作品展示等も行ってきました。また、集団生活の中で、自己肯定感や人間関係形成力を高め、いじめや不登校の未然防止を図るための手立ての一助として**「hyper-QU」を小中で実施**しています。今年度も感染症予防に配慮しながら小中連携の取組の在り方を検討しています。**人事交流**としては、坂戸中から隔週金曜日で、☆☆　☆☆彡　**教諭**が派遣されています。

【坂戸小・中スタディーウィーク＆ノーメディア・チャレンジ】

坂戸中と合同で期間を合わせての「坂戸小・中スタディーウィーク」や「ノーメディア・チャレンジ（ノー・テレビ＆ゲーム等）」で、家庭学習や家読（うちどく）、家族団らんを推奨しています。

是非、ご家族でチャレンジしてみてはいかがでしょうか。

≪ 夢道場・ほっとインフォメーション ≫

坂戸小会場『第1回ふれあい漢字検定』

『**坂戸小・学びの絆プロジェクト**』として、8月28日（土）に本校会場で実施する『**第1回ふれあい漢字検定～世代を超えた学び合い～**』につきまして、保護者の皆様にはアンケートのご協力を有難うございました。参加希望状況につきましては、どの項目も「どちらともいえない」が過半数でしたが、以下の通りです。

□「お子さんを受検させたいと思いますか」	２２７名
□「家族で参加したいと思いますか」	７２名

なお、保護者の皆様のご協力をお願いしたところ、「人手が足りないのであれば…」と、沢山の方々から温かいお気持ちをいただきました。今回は、「はい」と回答してくださった方を中心にお手伝をお願いいたします。本当に有難うございました。

【お問い合わせ先】　坂戸小学校　☎281-0039（校長）まで

【校長室より】『さらなる坂戸小・中の連携を』

元は中学校籍で坂戸中の教頭を約3年間経験させて頂いたこともあり、子供たちの成長のための義務教育9か年の学びの連続や滑らかな接続等、小中連携の重要性を痛切に感じている。今年度も連携の取組で坂戸中に何度か訪問させて頂く機会があるが、本校卒業生も含め、坂中生の頑張っている姿や凛々しい姿に触れ、毎回感動させられる。「小学生が『憧れ』、在校生が『誇り』を持ち、卒業生が『愛着』を感じられる坂戸中学校に」。坂戸中・校長先生のお言葉。小学生に『憧れ』を。以前のように中学生と直にふれ合う機会が再開できることを切に願っている。